

大腸癌(進行・再発) 1st, 2nd Line

FOLFIRI+Cetuximab療法 (導入)

患者ID : @PATIENTID ( )コース目  
 患者氏名 : @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース14日。DAY 1に点滴開始。初回49.5時間。  
 投与基準: class A (2回目以降class B)  
 EGFR陽性。RAS遺伝子野生型の患者に限る。  
**下痢・腸閉塞の患者には禁忌!!**  
 ※ UGT1A1遺伝子多型検査を考慮  
 ※ 投与中・投与終了後少なくとも1時間はVital signsのチェック (Monitor 装着を推奨)  
 ※ Infusion reactionに要注意  
 重度のInfusion reaction(気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識障害、ショック、心筋梗塞、心停止)の発現の報告が  
 初回投与又は投与終了後1時間以内に多いが、投与数時間後又は2回目以降の投与でも発現することがある。  
 ※ 血清マグネシウム値のモニターを定期的(月1回程度)に行うこと。  
 ※ 皮膚症状には早期から積極的な対応を行うこと。

《使用薬剤》

セツキシマブ (CET): (セツキシマブ) 100mg/20mL/V  
 イリノテカン (CPT-11): (イリノテカン) 40mg/2mL/V、100mg/5mL/V  
 レボホリナート (I-LV): (レボホリナート) 25mg、100mg/V  
 フルオロウラシル: フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)	投与日
セツキシマブ	400 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
	250 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		8
イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
フルオロウラシル(急速)	400 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
フルオロウラシル(持続)	2400 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day 1	1月1日 (金)			
		<b>メイン</b> 側管		
	0時00分	①	生理食塩液 50mL + ポラミン 1A + デキサート 13.2mg 15分で点滴静注	
	0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	
	0時45分	③	生理食塩液 500mL + セツキシマブ <i>mg</i> 120分で点滴静注	0.0 mL
	2時45分	④	生理食塩液 250mL 60分で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)	
	3時45分	⑤	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A 15分で点滴静注	
	4時00分	⑥	生理食塩液 250mL + イリノテカン <i>mg</i> ⑦と同時に90分で点滴静注	0.00 mL
		⑦	生理食塩液 250mL + レボホリナート注 <i>mg</i> 側管から⑥と同時に、2時間で点滴静注	
	6時00分	⑧	生理食塩液 40mL + フルオロウラシル注 <i>mg</i> 全開(15分以内)で急速静注	0.00 mL
	6時15分	⑨	生理食塩液 50mL フラッシュ(終了後材料の除去)	
	6時20分	⑩	生理食塩液 140 mL + フルオロウラシル注 <i>mg</i> トレフューザーポンプにて46時間持続投与	0.00 mL
day 3	1月3日 (日)	4時20分頃	点滴終了後、ヘパフラッシュを注入し、抜針する	
day 8	1月8日 (金)			
		<b>メイン</b> 側管		
	0時00分	①	生食 50mL + ポラミン1A + デキサート6.6mg 15分で点滴静注	
	0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	
	0時45分	③	生理食塩液 250mL + セツキシマブ <i>0mg</i> 60分で点滴静注	0.0mL
	1時00分	④	生理食塩液 250mL 60分で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)	

REFERENCE

Charles S. Fuchs, John Marshall, Edith Mitchell, et al: J clin Oncol 25: 4779-4786, 2007  
 Randomized, Controlled trial of irinotecan plus infusional, bolus, or oral fluoropyrimidines in first-line treatment of metastatic colorectal cancer: result from the BICC-C study  
 第9回化学療法プロトコル審査委員会承認: 2009年8月6日 更新: 2016年6月14日